

開講科目名 / Course	看護疾病病態論	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	石田 佳代子	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、内倉 佑介、三苦 美和、安部 涼子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	20	
科目の目的と概要	疾患からみた病態と症状からみた病態の両者を多元的・有機的に把握する能力を養うため、人体の構造や機能を理解しやすいように系統解剖学的構成に従って知識を整理しながら展開する。代表的な疾患やその症状を中心に教授し、病態生理、臨床像、治療が主な教育内容である。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器系・肝・胆・膵系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。</li> <li>2. 呼吸器系および感染症の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。</li> <li>3. 循環器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。</li> <li>4. 血液・造血器系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。</li> <li>5. 内分泌・代謝系の主要な疾患の病態の概要、症状のメカニズム、病態との関連における検査、治療の考え方および身体の観察ポイントについて説明できる。</li> </ol>	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、6.探求心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>01. 消化器疾患（1）消化器がん</li> <li>02. 消化器疾患（2）侵襲と生体反応、胃がん術後の生理学的変化</li> <li>03. 消化器疾患（3）消化性潰瘍、急性腹症など</li> <li>04. 肝・胆・膵疾患</li> <li>05. 呼吸器疾患（1）肺炎、気管支喘息</li> <li>06. 呼吸器疾患（2）慢性閉塞性肺疾患</li> <li>07. 呼吸器疾患（3）呼吸不全</li> <li>08. 呼吸器疾患（4）肺腫瘍、気胸</li> <li>09. 呼吸器疾患・感染症</li> <li>10. 循環器疾患（1）虚血と梗塞、狭心症、心筋梗塞</li> <li>11. 循環器疾患（2）不整脈、ショック</li> <li>12. 循環器疾患（3）高血圧、動脈系疾患、静脈系疾患</li> <li>13. 循環器疾患（4）心不全</li> <li>14. 血液・造血器疾患（1）貧血</li> <li>15. 血液・造血器疾患（2）白血病</li> <li>16. 血液・造血器疾患（3）止血機能異常</li> <li>17. 内分泌・代謝疾患（1）糖尿病</li> <li>18. 内分泌・代謝疾患（2）糖尿病の合併症、脂質異常症、痛風</li> <li>19. 内分泌・代謝疾患（3）内分泌の作用機序、視床下部-下垂体総論、甲状腺疾患</li> <li>20. 内分泌・代謝疾患（4）副甲状腺疾患、副腎疾患 等</li> </ol>	
その他の授業の工夫	学生自身が主体的に学び、理解を深められるように課題を提示する。	
時間外学修	事前学修：該当臓器などの解剖生理を復習したり、分からない用語などを調べておく（8h）。 事後学修：資料やノートの内容を復習する（10h）。 筆記試験を行うので、重要なポイントを適宜整理する（20h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験（100％）。但し、各試験範囲の授業時間の1/3以上欠席した場合は受験を認めない。	
テキスト		
参考書	病気がみえる 各シリーズ〔消化器、呼吸器、循環器、血液、糖尿病・代謝・内分泌〕（メディックメディア） プチナースBooks 病態関連図が書ける観察・アセスメントガイド（照林社） 系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]（医学書院）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有

	内容	石田佳代子：病院の看護師経験 三笥美和：病院の看護師経験 内倉佑介：病院の看護師経験 安部涼子：病院の看護師経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の経験を活かし、臨床現場と理論を結び付けながらエビデンスに基づき教授する。	